

出席状況を自己管理できる機構の構築

政策情報学部4年

0840043

齊藤 雷太

結果

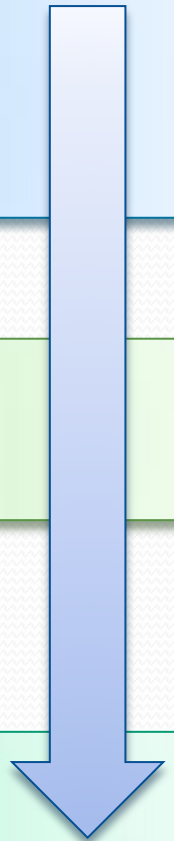
- 授業情報の登録機能、検索、削除機能の実装
- 学生の授業への意欲向上、意識改善へ繋がった

背景・目的

- 単位取得には出席が必要不可欠
 - 授業を欠席する学生がいる
 - 欠席者を支援できる機構が必要ではないか

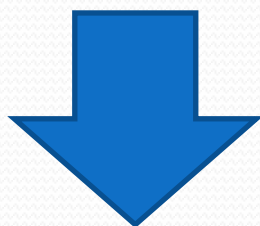
- ただし、欠席者を間接的に支援する

- 欠席者の授業意欲の向上、意識改善を促す



現状把握

- 現在の学生の出席に対しての関心について知る必要がある
- 学生だけではなく先生が出席をどう見ているのかについて知る必要がある



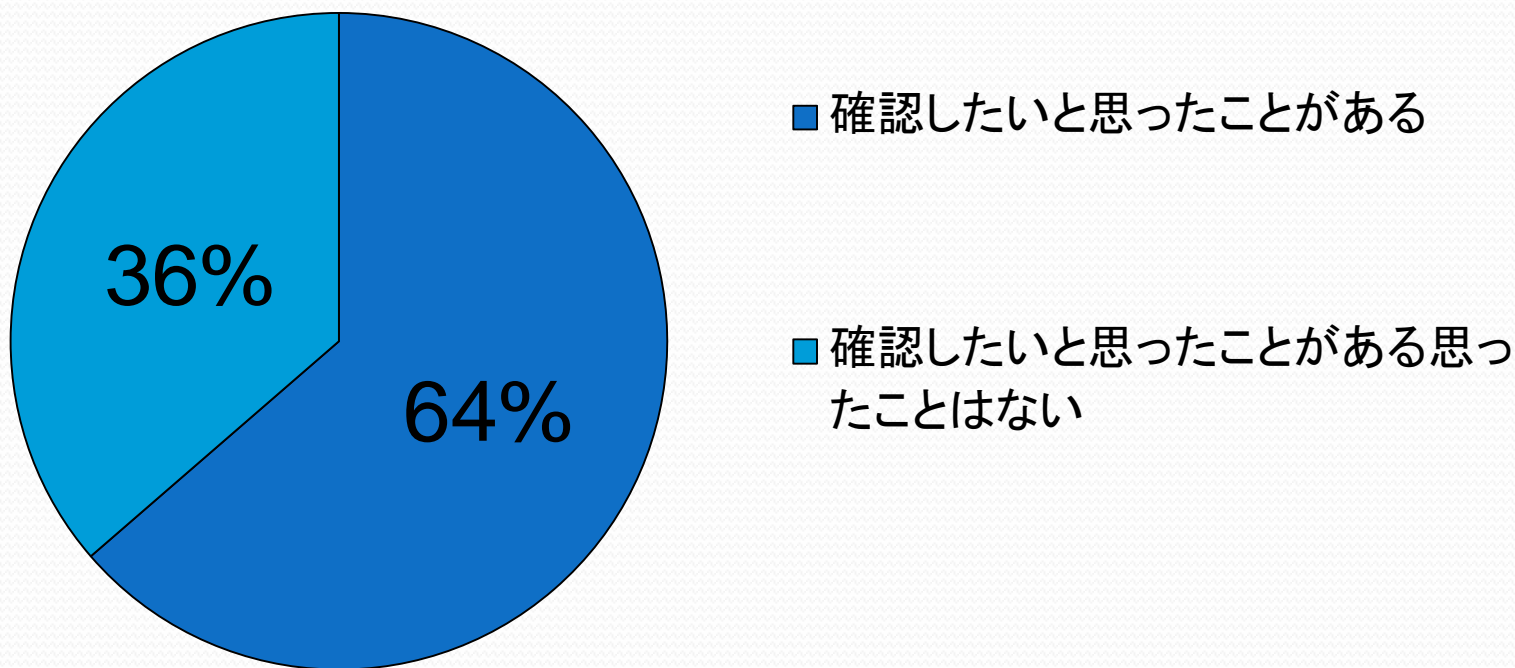
- この二つを比較することで問題点を見つける

出席状況の自己把握について調査

- 出席状況の自己把握についてアンケート調査を学生に行う
 - 学部を問わず22人にアンケート調査を行う
 - 出席状況についてどれくらい関心があるか
- 先生へ取材調査を行う
 - 先生の出席に対しての見方について問う
 - 「先生は出席ってどう思ってるの？」

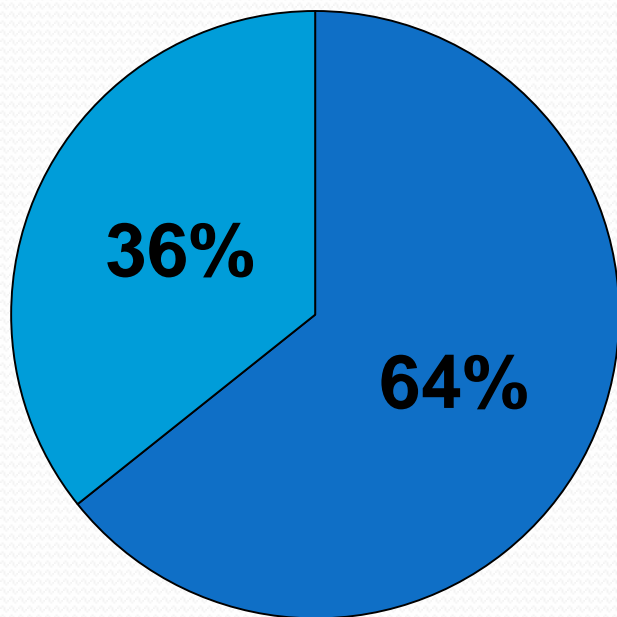
学生へのアンケート結果

出席状況を確認したいと
思ったことがあるか



学生へのアンケート結果

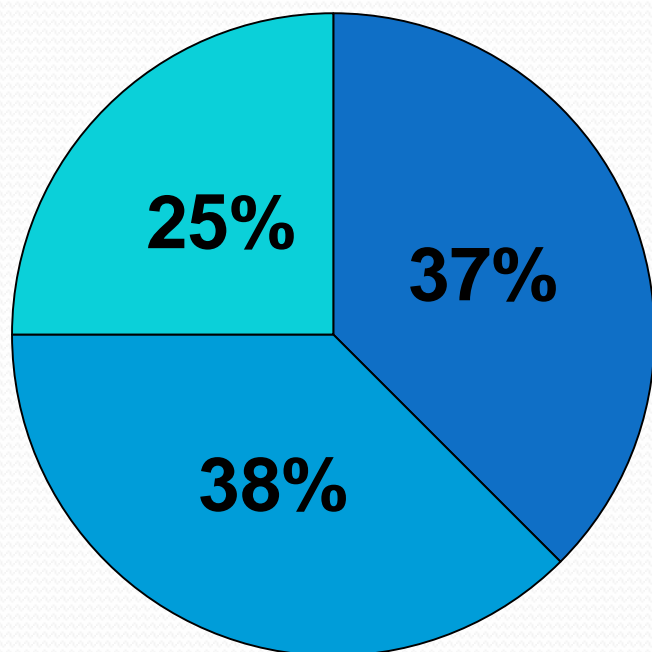
授業の出席を
どうやって確認したのか？



- 授業当日に先生に確認をとる
- 授業とは別の日に先生を探し確認する

学生へのアンケート結果

授業の出席状況を何を用いて
確認していたか



■ 授業配布物で確認

■ ノート、手帳に出欠を記述

■ その他

先生への取材調査

- 先生は出席がどれくらい授業に影響を与えていると考えているか？
- 課題がすべてであり、課題さえ提出されれば出席はどうでもよい
- 出席は重要な評価点であるため欠席はしないでほしい

問題点

- 出席状況を学生が明確に知る事が難しい
 - 先生は常に学校にいるわけではない
 - 先生は色々な授業を掛け持ちしている
- 先生と学生の出席の見方の違い
 - 先生は出席の見方は様々
 - 学生は出席の見方がほぼ単一である
 - 出席の見方の違いによる意識の差が問題

解決法の提案

- 出欠状況を先生に左右されない形で把握できることが理想である
- 授業の出欠情報を記録できる機能が必要である
- 情報端末を用いることにより時間をかけず出欠情報を知ることができる

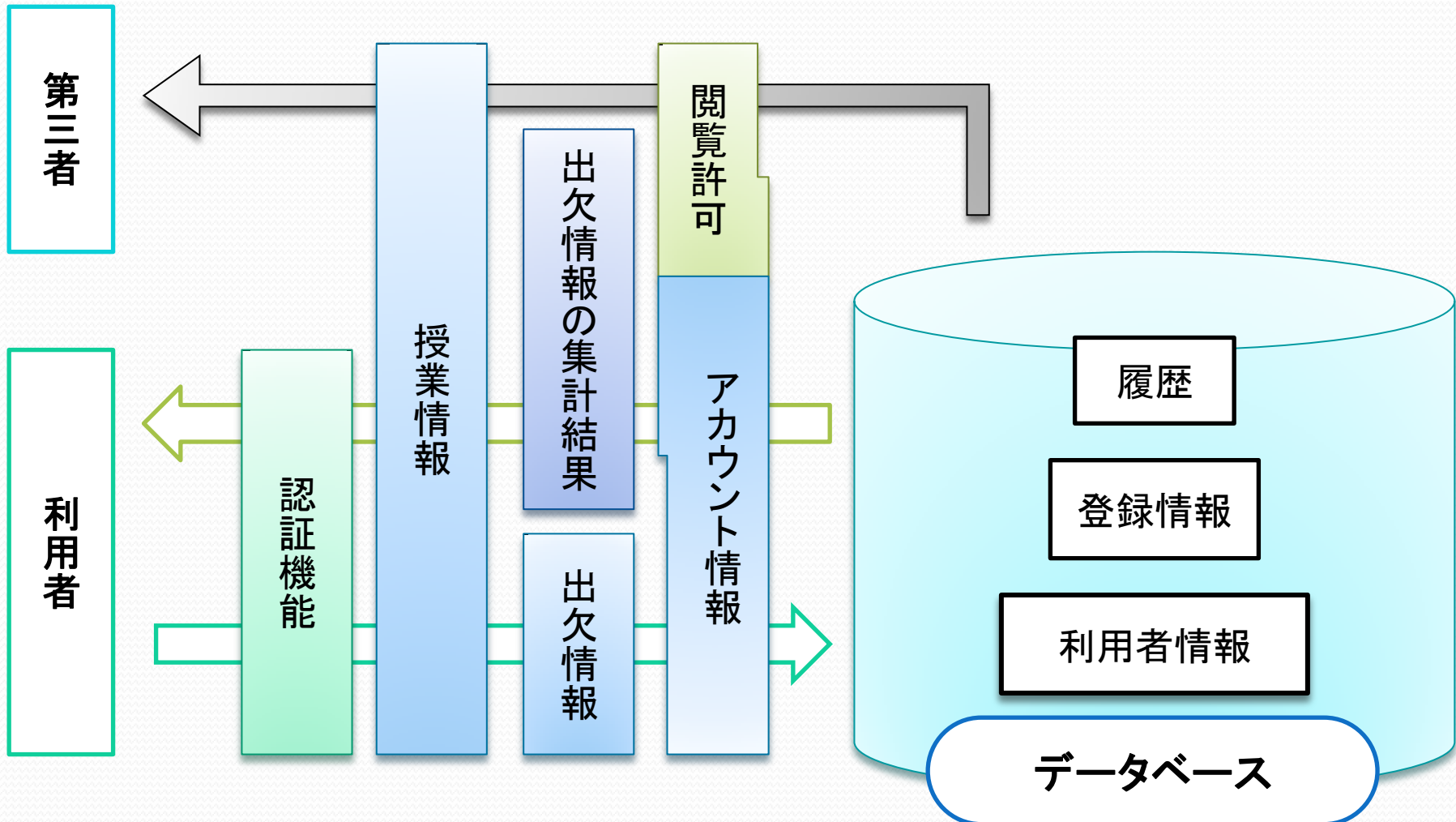
必要な条件

- 利用者の特性として現代人のほとんどはPC・携帯電話を所持している、利用者の特性に配慮したシステムが必要
 - 普及している端末による利用が可能である
- アカウントを設ける
 - 自己管理なので個人が利用するものである
 - 認証機能が必要
- 情報を知る場として交流方法を設ける
 - 閲覧許可により第三者や他の利用者も閲覧ができるようにする

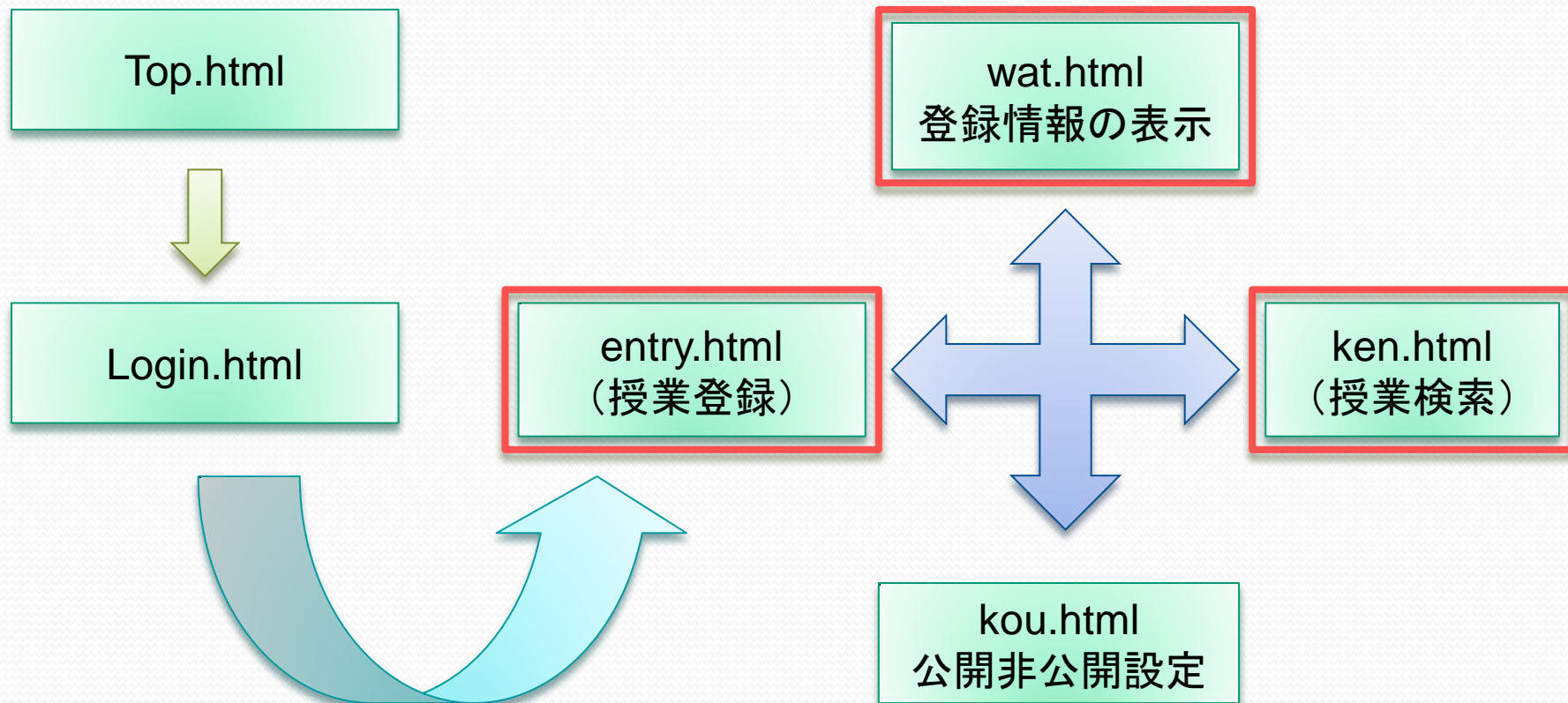
機能要件一覧

- 利用者ごとのデータをまとめるためにアカウントを設ける。
- 利用者が授業を登録、閲覧ができる環境を作る。
- 登録されたデータの編集・削除等の操作は、利用者あるいは管理者のみができるようにする。
- 登録されている情報に出席欠席の情報を登録できるようにする。
- 利用者が自分の履修していない授業の情報を知る場として交流の場が必要である。

システムモデル



ページ構成



実装画面① 授業情報の入力

授業名を入力

曜日、授業時間を選択

備考を入力

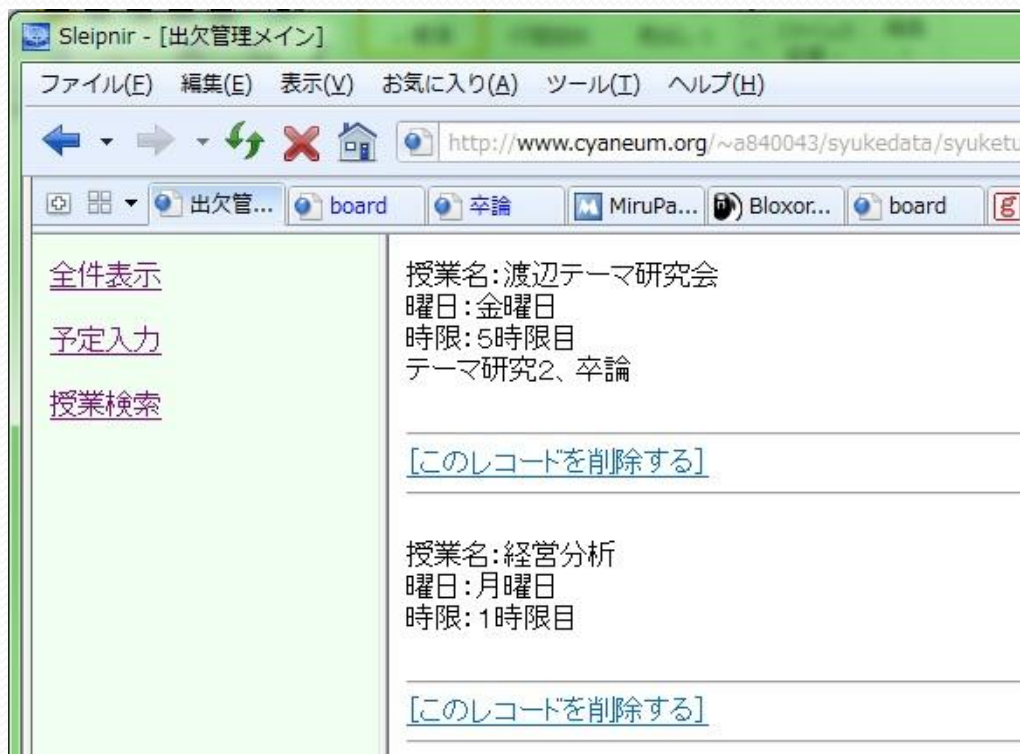
登録！

The screenshot shows a web browser window titled "Sleipnir - [出欠管理メイン]". The address bar displays "http://www.cyaneum.org/~a840043/syukeda". The browser has several tabs open, including "出欠管...", "board", "卒論", "MiruPa...", and "Bloxor...". The main content area is divided into two sections. The left section has a light green background and contains three links: "全件表示", "予定入力", and "授業検索". The right section has a white background and contains the following form elements: a heading "授業を登録してください", a text input field for "授業名" with the value "渡辺テーマ研究会", a dropdown menu for "曜日" with the value "金曜日", a dropdown menu for "時間" with the value "5時限目", a text input field for "備考" with the value "テーマ研究2、卒論", and two buttons at the bottom: "登録" and "リセット".

実装画面② 授業情報の出力

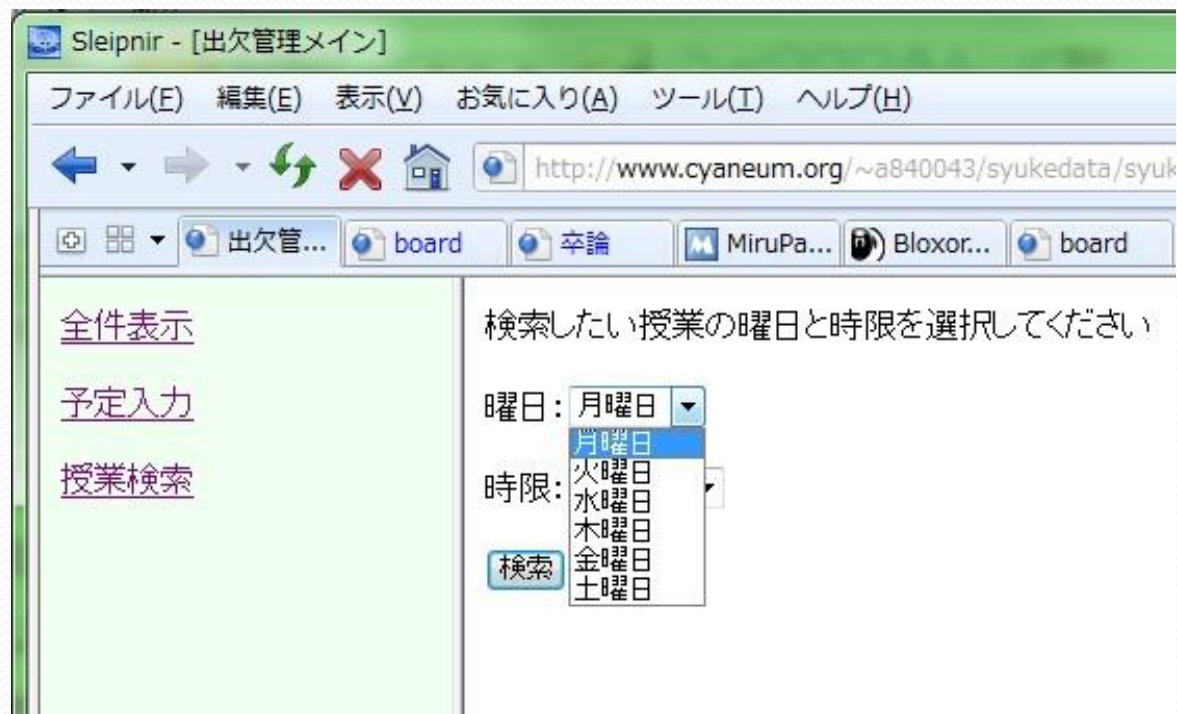
- 予定入力で登録された授業情報がすべて閲覧できる

- 表示される授業情報は新しいものから順に表示される



実装画面③ 授業情報の検索

条件を指定して
検索をかけると条件に
合致した情報だけを
表示してくれる！



実装評価

設計機能	実装状況
認証機能	×
アカウント管理	×
授業情報の登録	○
登録情報の表示	○
登録情報の検索	○
出欠情報の登録	×
出欠情報の集計と出力	×

利用者による評価

- 同じ時間に複数の授業入れても検索で全部候補出してくれるのは良い
- 授業のある日付入れたいかな何回目の授業でたのかとかがわかりやすいかなーって思う。
- 左側に別項目でカレンダー表示みたいながあると便利かも。ブログパーツでよくあるやつ
- 早くアカウント管理作ってね。出席とか授業ごとの備考を書けるようにするなら授業ごとに単一のページが必要だね。
- レコード削除はもうワンクッション削除確認とかがあったと個人的には安心だけどこれは個人差かなーって感じです。

考察

- 今回実装できたのは本研究の根底であり全体の一部分である。
- 利用者評価より
 - 登録した授業の授業日の表示が必要がある
 - カレンダーの表示が必要がある
 - 表示の仕方を変更する必要がある

結論と今後の課題

- 結論

- 授業情報の登録機能、検索、削除機能の実装
- 学生の授業への意欲向上、意識改善へ繋がった

- 今後の課題

- 今回実装できなかった部分の実装を目指す
- 利用者の評価を反映し、利用者がさらに使用してみたいと感じるものへ近づけていく

- ご清聴ありがとうございました。